

高性能林業機械を より簡単・容易に導入できます。



私はコレを導入しました。

「がんばれ!地域林業サポート事業」は林業機械のリースに必要な費用をサポートする助成事業です。この事業をご利用いただければ、担保や多額の自己負担がなくても機械を導入することが可能です。

この事業を活用して機械化を進めれば、たとえば次のようなメリットも期待できます。みなさんも、この事業に参加しませんか?

高性能林業機械の導入によるメリット

- 1 コストが削減できる**
高性能林業機械を導入することにより、低コスト林業を実現できます。
- 2 生産性が上がる**
機械化による作業システムを取り入れれば、効率があがりアップします。



高性能林業機械のリースによるメリット

- 1 機械導入時の多額の初期費用が不要**
担保や多額の自己資金が無くても機械導入が可能です。
- 2 機械を所有したときの事務管理が不用**
資金調達、償却事務、諸税の申告・納付、保険の諸手続などの事務処理が不用です。
- 3 コストが把握しやすい**
リース会社への支払いは、一定額の月払いのため、経営計画が立てやすい。
- 4 機械の処分にかかる手間が不用**
リース期間終了後、機械の処分費用がかかりません。
- 5 機械導入のタイミングを逃さない**
購入するよりも契約手続きが迅速です。

※「リース」とは、企業や個人が選んだ機械等をリース会社が買い取り、企業等に長期間賃貸する取引のこと。月単位や日単位で短期間賃貸を行う「レンタル」とは違います。

高性能林業機械の いろいろ

一口に高性能林業機械といってもその種類と用途はさまざまです。どんな種類があるのか、簡単に紹介しましょう。



●タワーヤーダ (タワー付き集材機)

手軽に架線集材ができる人工支柱を装備した移動可能な集材機。



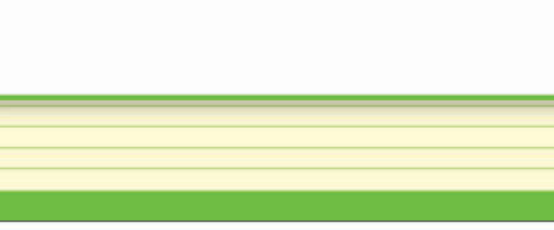
●プロセッサ (造材機)

林道や土場などで全木集材した材の枝払い、玉切りを専門に行う機械。



●ハーベスタ (伐倒造材機)

伐採、枝払い、玉切りと、集材しやすいように玉切りした材の集積を一貫して行う機械。



●フォワーダ (積載集材車両)

玉切りした材を荷台に積んで運ぶ集材専用の車両。荷台に丸太を積み込むためのクレーンを装備している。



●スイングヤーダ (簡易架線集材機)

建設機械などに集材用ウィンチを搭載し、そのアームをタワーとして使用する集材機。



●スキッド (索引集材車両)

丸太を牽引集材する集材専用のトラクタ。



●チェーンソー (伐採)

丸太を牽引集材する集材専用のトラクタ。



●フェラーバンチャ (伐倒機)

立木を伐採し、切った木をそのままつかんで集材に便利な場所に集材するという2工程を行う機械。

高性能林業機械を使った 効率的で低コストな林業

高性能林業機械を組み合わせることで、さらに効率的な作業が可能になります。高性能林業機械を使った低コストで効率の良い作業システムのモデル例を上げてみました。

ハーベスタ + フォワーダ

ハーベスタが伐倒、枝払い、玉切りを行い、一カ所に集積する。これをフォワーダで集材するシステム。



チェーンソー + スイングヤーダ + プロセッサ

チェーンソーで伐採した材をスイングヤーダで集材し、これをプロセッサで枝払い、玉切りするシステム。

